館林市公共施設等全体個別施設計画
第２期計画
（令和８年度～令和１２年度）



令和８年３月

群馬県館林市

目　　次

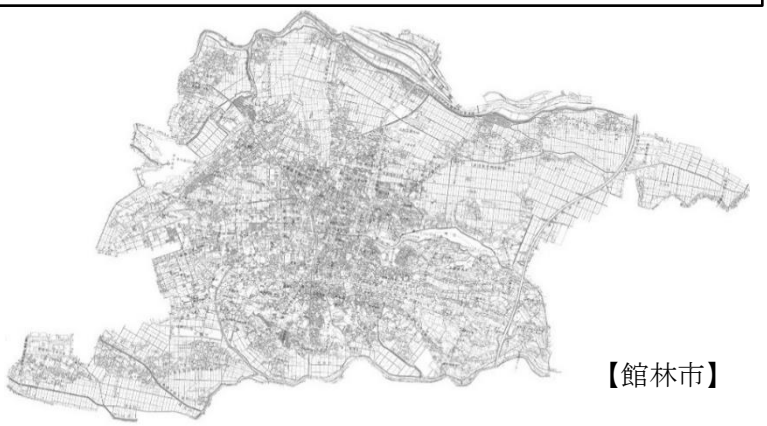
Ⅰ．基本的な考え方
1　計画の背景・目的等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
2　計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
3　方向性の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
4　計画の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
5　計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
6　計画の取組体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅱ．施設の適正管理に向けた取組
1　館林市公有財産管理システムの役割　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
2　施設データの一元化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
3　施設の評価項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
4　再編の手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

Ⅲ．維持保全
1　維持保全の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

Ⅳ．館林市個別施設リスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

1　市民サービス系施設
①市民文化系施設　②社会教育系施設（公民館）
③社会教育系施設（図書館、博物館、資料館等）④社会教育系施設（集会所）
⑤ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設（ｽﾎﾟｰﾂ系施設）⑥ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設（ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設）
⑦産業系施設　⑧学校教育系施設　⑨子育て支援施設　⑩保健・福祉施設
⑪医療施設
2　行政事務系施設
①行政系施設
3　生活基盤系施設
①公園　②供給処理施設　③市営住宅
4　その他施設



【館林市】

Ⅰ．基本的な考え方

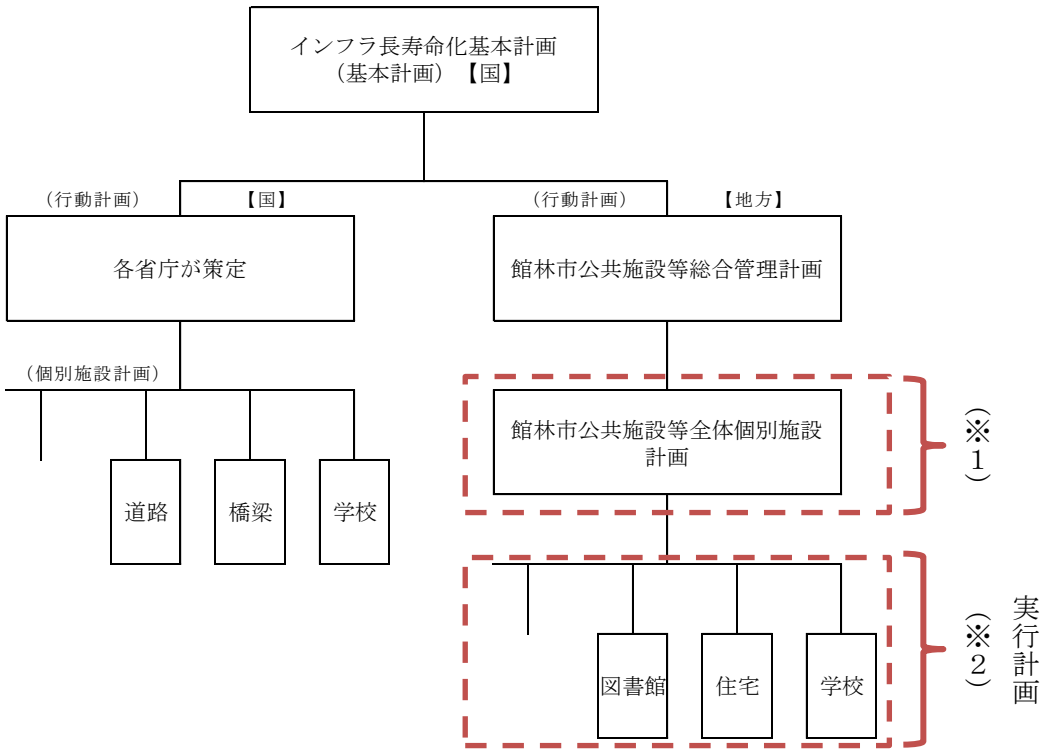
1　計画の背景・目的等

本市では、公共施設等の維持管理の基本的な方針を定める「館林市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を平成２９年３月に策定しました。さらに、令和４年３月には数値目標を設定するなど、総合管理計画を改定しました。

総合管理計画の基本的な方針に基づき、令和３年３月に策定した「館林市公共施設等全体個別施設計画」（以下「本計画」という。）においては、個別施設ごとの短期・中長期的な方向性や取組内容を横断的に定めておりますが、第１期計画の計画期間（令和３年度～令和７年度）が満了を迎えるにあたり、当期間における取組や検討内容を整理し、引き続き総合的かつ計画的な取組を進めるため、第２期計画（令和８年度～令和１２年度）を策定するものです。

なお、本計画により、個別施設ごとに作成する「館林市公共施設等全体個別施設計画に基づく実行計画」（以下「実行計画」という。）への展開を図ります。

【各計画の相互関係】



※１　本計画は建物系施設を対象として、個別施設ごとの方向性を定めるものです。

※２　実行計画は、個別施設ごとの方向性に基づき対策費用や対策実施時期等を具体的に定めるもので、本計画を補完するものです。

2　計画の位置づけ

本計画は、本市の市政運営の指針となる館林市総合計画を最上位計画とし、総合管理計画の実効性を高めるための「個別施設における必要な対策や基本となる方向性を示す計画」として位置づけます。

また、本計画に基づき作成する実行計画において試算した修繕・更新コストや、総合管理計画における施設の管理方針や管理に関する課題を踏まえ、個別施設ごとの方向性を設定するとともに、今後に向けた課題を整理します。

なお、各施設所管課にて長寿命化計画等を策定している場合は、当該計画をもって実行計画とします。

【長寿命化計画策定施設】

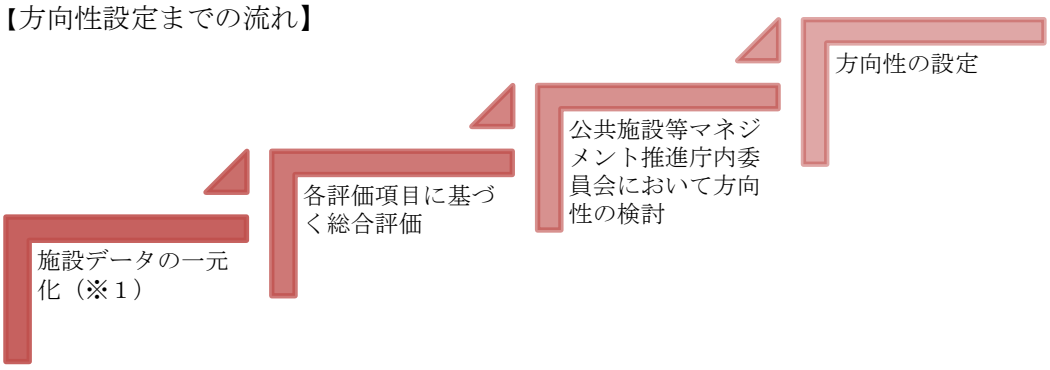
施設分類	施設名	計画名	当初策定年月	担当課
生活基盤系施設	市営住宅	館林市市営住宅長寿命化計画	令和　３年３月	建築課
	公園	館林市公園施設長寿命化計画	平成２６年３月	緑のまち推進課

3　方向性の設定

（1）方向性の設定

本計画では各施設所管課の施設評価を踏まえ、公共施設等マネジメント推進庁内委員会においてその評価結果を全庁的な観点から検討し、個別施設ごとの方向性を設定しています。また、「公有財産管理システム」を用いて、施設データを一元管理し、公共施設等の利用者数、維持管理コスト、使用料等多様な変数を複合的に分析・評価し、必要に応じて本計画に反映します。

【方向性設定までの流れ】



※１　既存データの集約化、不足データの収集

（2）公共施設等の管理に関する基本となる方向性

個別施設ごとの基本となる方向性を設定するにあたっては、総合管理計画で定めた公共施設等の管理に関する基本的な方針を遵守します。

【公共施設等総合管理計画における公共施設等の管理に関する基本的な方針】　※抜粋

（１）効果的な施設の配置と運営

①ニーズの把握と施設の最適化の検討

➢少子高齢化及び人口減少による市民ニーズの変化を適切に把握し、施設の規模、立地、設備など、多角的に検討して施設の最適化を図ります。

➢建物系施設は、図書館・体育館・ホール等のように、多様な施設がありますが、施設用途による固定概念に捉われず、時代とともに求められるニーズに留意し、施設機能を整理します。

②再配置への取組

➢施設の業務内容・運営コスト等を検証し、求められるニーズに対して施設をより有効に活用するために、用途変更、他施設との複合化、廃止、除却を含めて再配置に取り組み、施設の保有量を縮減するとともに施設の質の充実に努めます。

➢利用実態が類似する施設について、類似機能の統合を踏まえた集約化等により、効果的・効率的な施設配置を検討します。

➢国、県などの施設や民間施設について、配置状況などを把握し、必要に応じて連携を図るなど、適切に再配置の検討を行います。

➢大規模改修や建替えが必要となる施設については、周辺施設の活用可能性などを十分に検討したうえで、実施の可否を判断するとともに、その時期については、併せて直近の財政状況を踏まえた平準化などを検討します。

➢運営コストの縮減や余剰資産の売却などを含め、持続可能な施設マネジメントを図ります。

③まちづくりとの整合

➢都市計画マスタープランや立地適正化計画などに定める本市の目指すべきまちづくりの将来像と適切に整合します。施設総量の縮減と市民サービスの維持・向上の両立を図るため、「集約型都市構造」への転換を見据えた施設の再配置を推進します。

④公民連携の推進

➢公共施設の運営は、従来の方法に捉われることなく、最適な運営方法を検討し、公民連携による運営コストの適正化に努めます。

➢公共施設の運営等において、民間事業者の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、市民へのサービス向上と効率的な行財政運営の実現が期待できる事業について、積極的にＰＰＰ／ＰＦＩ導入を検討します。

（２）維持管理と新規整備

①計画的な維持管理

➢計画的に点検及び修繕を行うことにより、大規模な修繕や改修を未然に防止する予防保全を推進し、施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を目指します。

➢修繕履歴や点検診断等の結果を記録・管理する施設台帳を整備し、計画的な維持管理の基礎資料とします。

➢施設を安全で良好な状態に維持するため、法令で定められている法定点検のほか、施設管理者が日常的・自主的に点検を行い、不具合が生じている部分の把握に努めます。

➢全体個別施設計画で定めた方向性に基づく実行計画を活用し、建物躯体に影響を及ぼす

保全対象部位等の計画的な改修に努めます。

➢インフラ施設の長寿命化については、国が示す基準や技術的な諸条件を考慮しつつ、適用対象の選別や有効な具体的手法について検討のうえ、推進します。

②個別施設計画の策定と推進

➢本計画を推進するための具体的な取組内容は、個別施設計画にて定めます。

➢個別施設計画は、既に策定されているものを含め、新技術の活用や社会情勢の変化等を適切に反映するために適宜見直しを行います。

③建物系施設の新規整備

➢建物系施設の新規整備については、既存施設の余剰スペースの活用や用途変更のほか、施設の複合化などによる対応を優先して検討します。

➢施設の新規整備（新設などの量的拡大を伴うもの）については、原則行わず、やむを得ない場合においては、代替施設の縮減や効率性向上などにより、総量への影響を極力抑制します。

➢施設の複合化にあたっては、設置目的、利用者、利用方法などを検証し、各施設機能に支障が生じないよう検討します。

➢親和性の高い施設の複合化に際しても、施設間の機能を洗い出し、室単位での複合化条件を十分に検討します。

（3）公共施設等の安全確保

➢利用者の安全・安心や災害対応、環境配慮、バリアフリーなど、公共施設等への社会的要請に応え、必要な機能・性能を確保するため、計画的に点検、改修又は更新します。

➢老朽化進行や耐震性不足に起因して公共施設等の安全性に課題があると認められる場合は、施設の供用継続によって提供される便利さ及び継続する危険性と、施設の供用廃止によって生じる不便さ及び確保される安全性を比較衡量し、市民の立場に立って適切に判断します。

➢公共施設等の耐震化については、平常時のみでなく災害時の機能確保の視点も含めて検討します。ただし、利用が低迷している施設や高コストの施設については、廃止や機能移転を検討します。

➢「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」（平成 29 年 2 月 20 日ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定）におけるユニバーサルデザインの街づくりの考え方を踏まえ、主に改修等の機会を捉えて、既存施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインへの適合を検討します。

（4）総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の整備

➢館林市公共施設等マネジメント推進庁内委員会を中心に、本計画の進行管理や個別施設計画の策定及び実施状況を共有することで、全庁的な公共施設等マネジメントを推進します。

➢職員自らが施設の日常点検や簡易劣化診断を実施できるように、必要に応じて研修を実施し、施設管理に役立つ知識、技能を全庁的に共有できる体制を整備します。

4　計画の構成

本計画では、個別施設ごとに定めた評価・方向性等を個別施設リストで示すとともに、公共施設全体の視点に立って進捗管理を行います。

なお、新たに施設評価を実施し、今後の方向性を定めた施設については、随時リストに追加する等、必要に応じて本計画を更新します。

○個別施設リスト

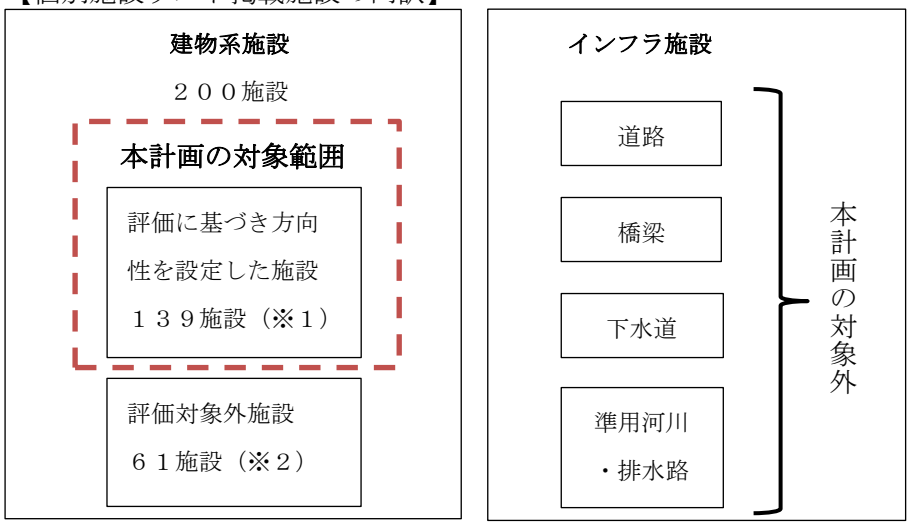
施設評価により方向性を設定した個別施設については、施設の現況や政策的評価に基づき管理・運営に関する基本となる方向性を示します。さらに、総合管理計画で示す縮減目標達成に向けて、施設の廃止を含めた再配置の取組を進めていくため、個別施設ごとの総合評価を実施し、本計画に反映します。

【公共施設等総合管理計画における縮減目標】　※令和４年度～令和３３年度

本市の建物系施設の延べ床面積を
今後３０年間（※）で２０％削減することを目標とします。

また、本計画の対象施設は、総合管理計画の対象である公共施設等を基本としますが、道路や橋梁、下水道施設などのインフラ施設は、計画をすでに策定しているか、又は必要に応じて個別に策定するため、本計画の対象外としています。

【個別施設リスト掲載施設の内訳】



※１　令和４年３月の総合管理計画改定後に新たに設置された、または廃止された施設も考慮しています。

新設：サイクリングターミナル南側公園公衆トイレ、北こども園、東こども園、南こども園

廃止：つつじが岡公園（花山）公衆トイレ２号、北幼稚園、南幼稚園、東幼稚園、長良保育園

※２　一部事務組合が管理する施設及び、小規模な公園トイレなどは本計画の評価対象から除きます。

5　計画期間

本計画を着実に推進していくためには、適切な期間設定が重要になります。特に社会情勢の変化が早い現代においては、その変化に対して柔軟に対応していくことが必要です。

そのため、本計画では総合管理計画の計画期間（令和４年度～令和３３年度）を複数の期間に分け、それぞれの期間において基本となる方向性を設定します。今回は、令和８年度から令和１２年度までの５年間を第２期マネジメント期間として設定し、今後も定期的に更新していくものとします。

6　計画の取組体制

（１）全庁的な推進・取組体制

全庁的に公共施設等マネジメントを推進し、本計画の進行管理や、実行計画の策定及び実施状況を共有する「館林市公共施設等マネジメント推進庁内委員会」を中心に、庁内の横断的な連携・協力を図ります。

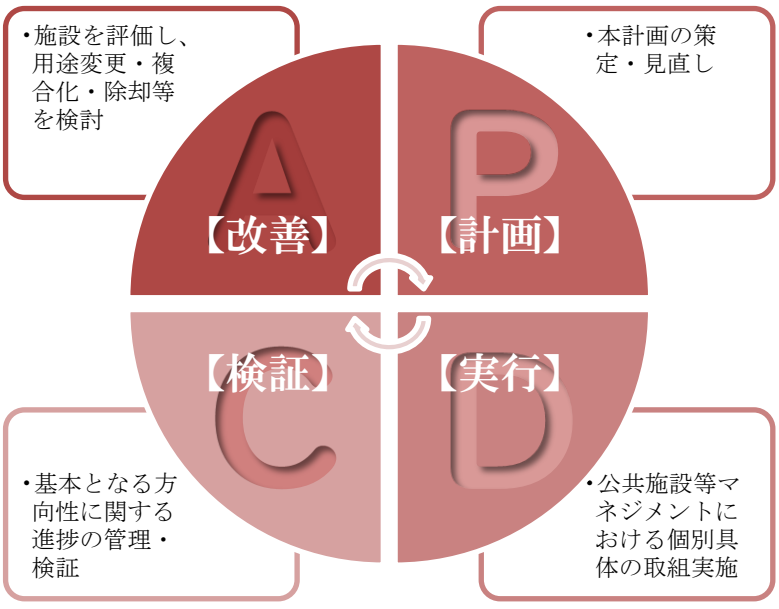
また、職員研修を実施し、職員の公共施設等に関する意識を高めることで、日常業務や施設管理の中に公共施設等マネジメントの定着を図ります。

本計画に基づく公共施設等マネジメントの推進については、議会や市民との共通理解が不可欠であるため、ホームページや広報紙等を活用し、情報の共有化を図ります。

（２）フォローアップ体制

ＰＤＣＡ（計画・実行・検証・改善）サイクルを活用し、本計画で示した基本方針に関する進捗状況を検証するほか、本市の人口動態や社会情勢、市民ニーズの変化を把握し、必要に応じて計画の見直しを行います。

【ＰＤＣＡサイクル図】

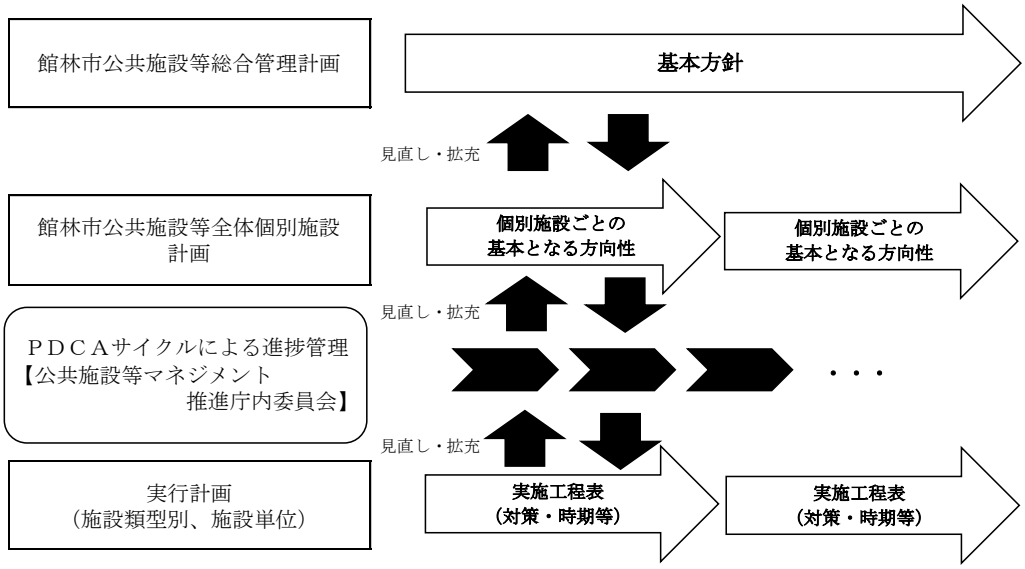


（3）総合管理計画及び実行計画との関連性

本計画は、上位計画である総合管理計画の基本方針に基づいて、個別施設ごとの評価や方向性を横断的に定めることにより、施設分類や施設ごとに作成する実行計画への展開を図ります。

本計画及び今後各施設所管課が作成する実行計画については、部門横断組織である公共施設等マネジメント推進庁内委員会と各施設所管課が連携してＰＤＣＡサイクルによる進捗管理を行うことで、適宜計画の見直し・拡充を図ります。

【本計画と各計画との関連図】



（4）実行計画の作成

各施設所管課は、公共施設等マネジメント推進庁内委員会と協議のうえ、具体的に取り組むべき実施事業等の内容を定め、所管施設全体で調整を図りながら実行計画を作成します。ただし、各施設所管課において、個別の長寿命化計画等を定める場合は、当該計画をもって実行計画とします。

個別施設に係る具体的な対策内容、実施時期及び対策費用（コスト）は、実行計画で定めるものとし、公共施設等マネジメント推進庁内委員会は、各施設所管課から提出された実行計画について、本計画との整合や進捗管理に係る確認を行い、その結果を適宜各施設所管課にフィードバックします。

各施設所管課は、実行計画を必要に応じて修正します。

Ⅱ．施設の適正管理に向けた取組

1　館林市公有財産管理システムの役割

「公有財産管理システム」の着実な運用を図ることにより、資産経営の最適化を図るため、評価結果や方向性を踏まえつつ、個別施設ごとの見直しや計画的な保全といった具体的な取組を推進していきます。

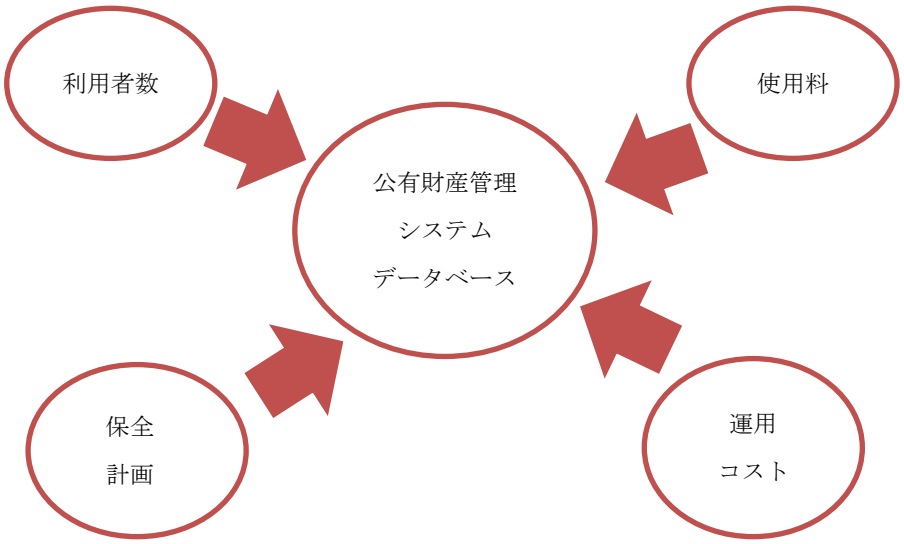
2　施設データの一元化

既存の台帳・システムでは管理していない個別施設ごとの利用実績や運営コストについては、各施設所管課が作成する「実行計画」にて把握し、「公有財産管理システム」データベースに格納し、「施設の評価」に活用していきます。

情報の一元化によって、共通の物差しで施設の比較が可能となり、再編を進めるうえでの基礎データとして活用、施設の評価や見える化による維持管理コストの縮減につなげることが可能となります。

また、施設データは定期的なフォローアップを継続することで、データを更新・蓄積し、施設総量・総量削減の状況、コスト削減額や利用状況等を把握するとともに、再編に向けた取組の実効性の検証、進捗管理に活用します。

【施設データ格納イメージ】



3　施設の評価項目

（1）個別施設の基本情報、状態等の把握

施設の基本的な情報、施設の状態等を整理します。

本計画における個別施設の基本情報及び現況は令和７年４月１日時点のものとします。

（2）現況評価

老朽化や耐震性、利用者数などの評価項目を数値化し、建物（ハード）と機能（ソフト）の２つの軸で施設ごとに評価を行います。

ア）評価項目

区分	評価項目	数値の算出方法	評価項目の説明
建物（ハード）	老朽化率	築年数÷法定耐用年数	建物自体の老朽化率を表す
	耐震補強の必要性	以下の基準により判定する。 ・1981年以降の新基準により建築された建物 ・1981年以前に建築された建物で改修の必要性が低い建物若しくは耐震改修済みの建物 ・1981年以前に建築された建物で改修の必要性が高い建物もしくは、耐震診断を実施していない建物	建物の耐震基準適合状況について、建築年や耐震改修の実施状況から必要性について評価
機能（ソフト）	１㎡当り利用者数（供給）	年間延利用者数÷延床面積	施設利用の効率性を評価
	１㎡当りコスト（財務）	維持管理コスト÷延床面積	施設に使われる行政負担の多寡を評価

イ）評価方法

建物（ハード）と機能（ソフト）について、それぞれ偏差値を算出します。

区分	対象施設	数値の算出方法
建物（ハード）の偏差値	全施設	老朽化率、耐震補強の必要性の偏差値の平均
機能（ソフト）の偏差値	全施設（※１）	１㎡当り利用者数、１㎡当りコストの偏差値の平均

※１　１㎡当り利用者数については、市民サービス系施設のみ算出しています。

※２　機能（ソフト）の偏差値については、施設分類ごとに算出しています。

ウ）評価対象施設分類

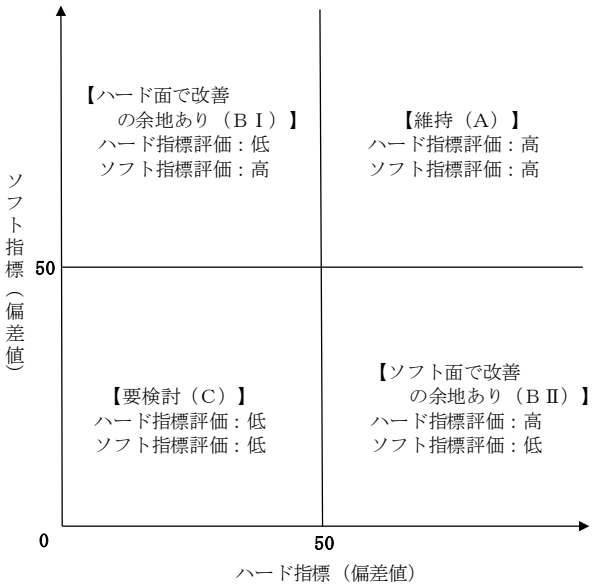
評価の対象となる施設は、施設ごとに役割や性質がそれぞれ異なるため、施設を次のとおり分類し、施設分類ごとに評価指標を設定します。

施設分類			評価指標
①市民サービス系施設	行政が市民生活の向上を図ることを目的に設けた施設で、市民が目的をもって利用する施設	市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション施設、産業系施設、学校教育系施設、子育て支援施設、保健・福祉施設、医療施設	・ハード指標 ・ソフト指標（財務・供給）
②行政事務系施設	行政が行政事務を執行するために設けた必要な施設	行政系施設	・ハード指標 ・ソフト指標（財務）
③生活基盤系施設	行政が市民生活の基盤として設置した施設	公園、市営住宅、下水道施設	・ハード指標 ・ソフト指標（財務）
④その他施設	どの施設分類にも当てはまらない施設	その他施設	・ハード指標 ・ソフト指標（財務）

エ）評価分類イメージ

ハード指標、ソフト指標の偏差値から平面を４つの象限に区分し、各施設における現況を評価します。

【象限に区分後の施設評価結果】



【象限で分類された評価判定】

評価判定	現況評価の内容
維持（A）	・ハード（品質）とソフト（財務・供給）の評価がともに高い。 ・維持・継続利用で検討する。
ハード面で改善の余地あり（ＢⅠ）	・ハード（品質）の評価が低い。 ・施設の修繕や改修等のハード面での改善の余地がある。
ソフト面で改善の余地あり（ＢⅡ）	・ソフト（財務・供給）の評価が低い。 ・施設の利用向上やコスト低減等のソフト面での改善の余地がある。
要検討（C）	・ハード（品質）とソフト（財務・供給）の評価がともに低い。 ・施設の今後の方向性について検討する。

（３）政策的評価

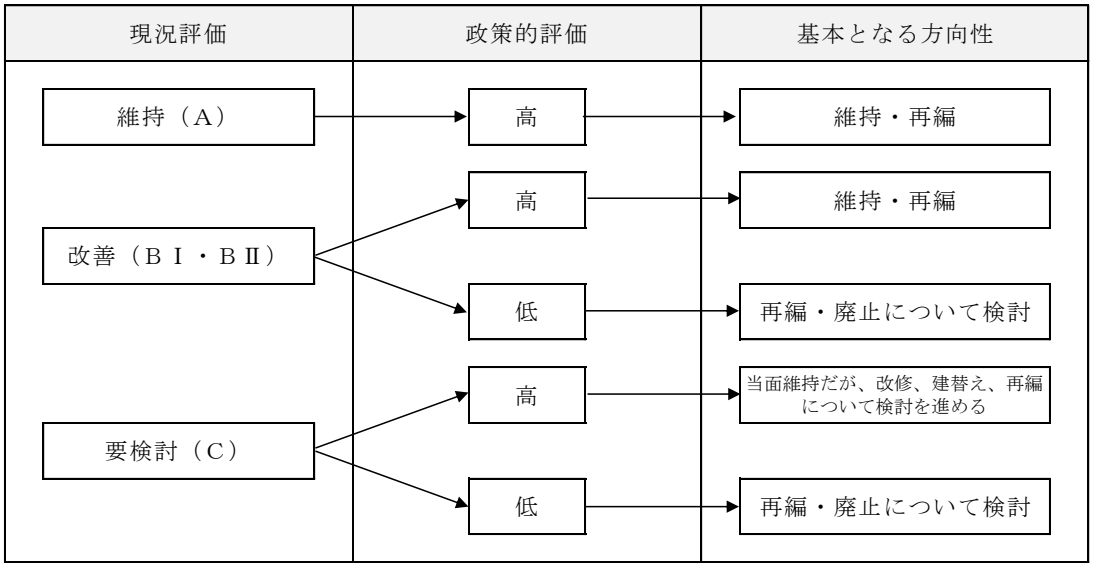
数値では表せない要素（公共性や政策的視点）について、下記の基準等を用いて政策的な評価を行います。

評価基準	①整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われている。 ②地域防災において、災害拠点や避難施設として指定されており、代替できる施設がない。 ③市内に類似施設が無く希少性が高い。 ④施設の運営方法や施設機能の向上により利用状況が改善できる見込みがある。 ⑤その他、施設の実情（地域での役割等）に応じて評価を行う。

（4）基本となる方向性の検討

「現況評価」に「政策的評価」を加味して基本となる方向性を設定します。それらの情報を実行計画へ落とし込み、個別施設ごとの現状と課題により今後の具体的な対応を検討します。

【評価による方向性】



・現況評価が「維持」であり、かつ、政策的評価が「高」となった施設については、「維持・再編」を基本となる方向性とします。なお、基本的には「維持」の方向性ですが、自治体経営（※１）の観点から「再編」が妥当と判断した場合は、「再編」とします。

・現況評価が「改善」であり、かつ、政策的評価が「高」となった施設については、「維持・再編」を基本となる方向性とします。なお、基本的には「維持」の方向性ですが、自治体経営の観点から「再編」が妥当と判断した場合は、「再編」とします。

・現況評価が「改善」であり、かつ、政策的評価が「低」となった施設については、「再編・廃止について検討」を基本となる方向性とします。

・現況評価が「要検討」であり、かつ、政策的評価が「高」となった施設については、「当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める」ことを基本となる方向性とします。

・現況評価が「要検討」であり、かつ、政策的評価が「低」となった施設については、「再編・廃止について検討」を基本となる方向性とします。

※１　将来住民の選択肢を奪うことなく、現在住民のニーズに対応するため、限られた資源を有効に活用し地域の持続性を確保すること。

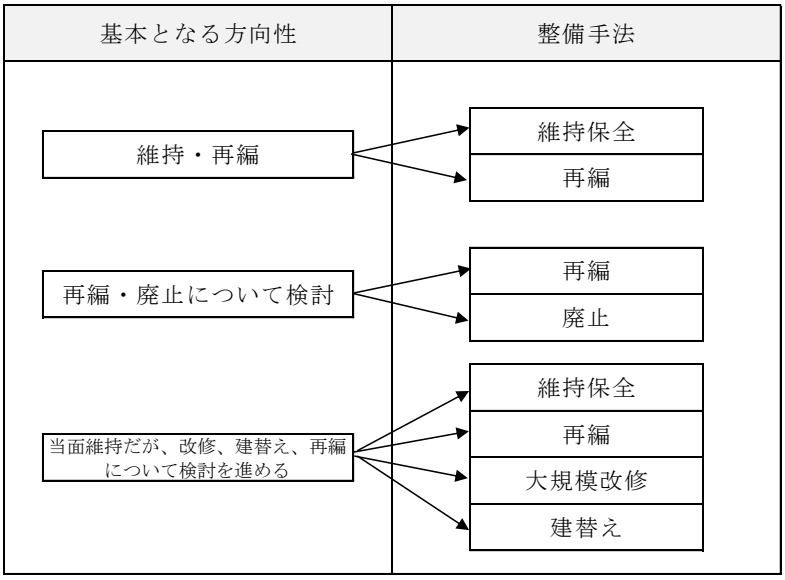
（5）施設の整備手法と具体的な実施内容

施設評価により導き出された基本となる方向性をもとに、施設の状態等を踏まえ、維持保全、さらには、集約化・複合化等の再編や建替え、廃止等の整備手法を設定し、必要な対策について、具体的な実施内容を施設ごとに整理します。

【整備手法一覧】

整備手法	対策内容
維持保全	建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、経年劣化や社会的劣化に対応するため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて修繕・改修等を実施する。長期間の使用を継続できるよう施設の長寿命化に努め、ライフサイクルコストの低減を図る。
再編	施設の目的や地域の活動に着目しながら、多くの人が使いやすいように施設の使い方（機能）を見直し、効率的な施設運営を実現する。
大規模改修	既存の施設について、求められる機能や性能を有する水準へ改修工事を実施する。
建替え	既存の施設を取壊し、現地もしくは別地に同等の機能を有する施設を整備する。
廃止	既存の施設を現状のまま存続させる必要性が低い場合は廃止する。

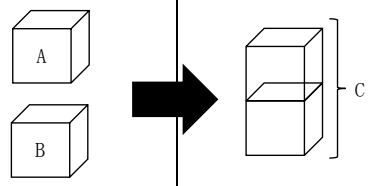
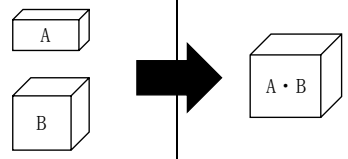
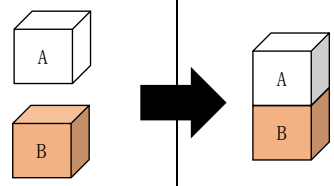
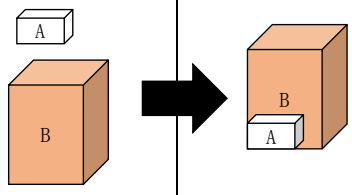
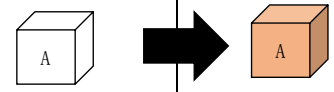
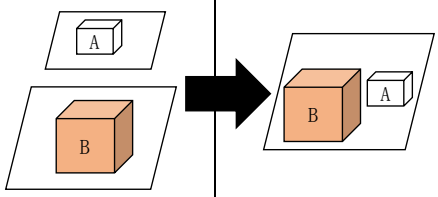
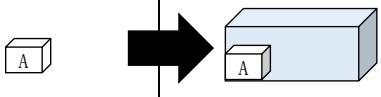
【基本となる方向性に紐付く整備手法】



4　再編の手法

再編の手法については、下表に示した一例のように、既存施設の有効活用、新規建物設備の制限など、状況に応じた再編手法を検討・実施し、ハード・ソフトの両面から施設としての効率性の向上を図ります。

【再編の取り組みの一例】

手法	取組のイメージ		説明
	実施前	実施後	
集約化 （建物統合）			既存の同種又は類似の公共施設を統合し、一体の施設として再整備（建替）する。
集約化 （機能集約）			既存の同種又は類似の公共施設で、１施設に機能集約が可能と判断した場合、一方の施設を廃止して統合する。
複合化 （建物合築）			既存の異なる種類の公共施設を合築し、これらの機能を有した複合施設として再整備（建替）する。
複合化 （用途変更）			既存の異なる種類の公共施設で、一方の施設にある余剰スペースの用途変更で、もう一方の施設の機能確保が可能と判断された場合、後者の施設を廃止して統合する。
転用			既存の公共施設を改修し、他の施設として利用する。
併設			既存の同種又は類似の公共施設を統合し、一体の施設として再整備（建替）する。
民間施設の活用			民間が整備した施設に公共施設が賃料を払ってテナントとして入居する。

Ⅲ．維持保全

1　維持保全の考え方

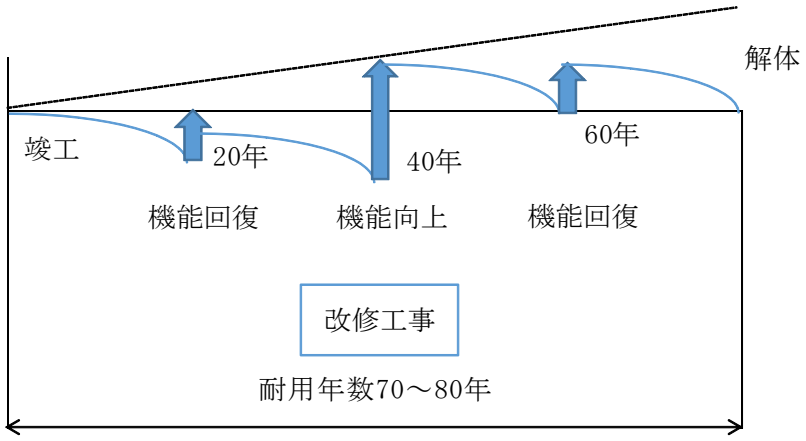
（1）維持保全の基本的な考え方

公共建築物は、竣工後から経年的に劣化が生じるため、適正な維持保全を実施しない場合には建築物の性能や機能を維持することができず、目標耐用年数以前に建て替えなければならない水準に達してしまうことになります。

そのため、本計画において維持していく方向性である施設については、不具合の程度が進行する前に修繕等の対策を行う予防保全の考え方を基本として、建物の点検・調査、運営データの分析などにより、建物の状態監視を継続的に行って施設データを蓄積していくことで、長寿命化を含む最適な保全措置を講じていきます。

大規模になりうる改修は、施設や設備の陳腐化によって利用率の低下や施設サービスの提供に支障を来す場合や積み残しとなっている修繕の一括施工が効率的な場合など、対象施設の状況を考慮して、実行計画に位置づけたうえで実施することを基本とし、目標耐用年数や関連事業・対策の設定時期に留意して、実施内容を設定することで財政負担の抑制を図ります。

【予防保全による長寿命化イメージ】



（2）維持保全の目標

限られた財源の中で施設の維持保全を実施するため、再編の実施による総量の最適化とともに、包括的な民間委託など積極的に民間活力の導入を検討し、維持保全費用の削減を図ることを目標とします。

Ⅳ．館林市個別施設リスト

■リストの見方（主な項目の説明）

①基本情報

・「経過年数」は、令和７年４月１日を基準に算出しています。

・複数棟を有する施設は、主な棟（延床面積が大きい棟など）を代表として記載しています。

・利用者数は、令和５年度と令和６年度の延べ利用者数を平均しています。
学校、幼稚園、保育園、学童クラブは令和５年度と令和６年度の在籍生徒・児童・園児数を平均しています。

②施設評価

・「Ⅱ．施設の適正管理に向けた取組」の「３　施設の評価項目」により評価を行っています。

・市民サービス系施設においても、１㎡当り利用者の算出ができない施設については、１㎡当りコストのみ算出しています。複合施設等で建物（施設）全体として維持管理を行っている施設については、１㎡当りのコストを０としています。また、１㎡当り利用者数及びコストの算出が適切でない施設は、建物（ハード）のみで施設評価を行っています。

・延床面積による１㎡当り利用者数及び１㎡当りコストの算出が適切でない施設については、施設面積により算出しています（屋外スポーツ系施設、館林駅自転車駐車場管理棟）。
施設面積は、延床面積の下にかっこ書きにて記載しています。

・施設評価に基づく「基本となる方向性」や「整備手法」については、当該施設の今後の方向性を示しておりますが、外部要因による影響が大きい施設もあることから、５年間のマネジメント期間に縛られるものではありません（市営住宅等）

③施設状態等・今後の計画

・現在の個別施設ごとの状態、今後の計画等を示しています。

・５年間の第２期マネジメント期間での改修・修繕の計画についても示しておりますが、財政的な制約もあることから、他の施設との調整を踏まえ検討していきます。

①　②　③

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値	現況評価	政策的評価		
1	文化会館	所管課	文化振興課	102	51.2	9.4	11,270	50.0	A	高	吸収冷温水機、受水槽、非常用発電機、電気設備等施設の重要部分の老朽化が顕著である。敷地内のタイル等の劣化も激しい状態である。近年、舞台機構設備の改修が実施できていないため、大ホールの貸館にも影響が出る恐れがある。大ホール音響設備も早急の改修をしないと、運営に係る状態である。	市の芸術文化の拠点施設としての機能を維持していくため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・受水槽更新 ・非常用発電機更新 ・吸収冷温水機更新 ・舞台機構設備更新 ・舞台音響設備更新 ・非常照明設備更新
		建築年	1974						基本となる方向性			
		経過年数	51						維持・再編			
		構造	RC造						整備手法			
		延床面積（㎡）	7,481.66						維持保全			
		利用者数（人）	70,661									

１．市民サービス系施設

①市民文化系施設（文化系施設）

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
1	文化会館	所管課	文化振興課	102	51.1	9.4	11,270	50.0	現況評価	政策的評価	吸収冷温水機、受水槽、非常用発電機、電気設備等施設の重要部分の老朽化が顕著である。敷地内のタイル等の劣化も激しい状態である。近年、舞台機構設備の改修が実施できていないため、大ホールの貸館にも影響が出る恐れがある。大ホール音響設備も早急の改修をしないと、運営に係る状態である。	市の芸術文化の拠点施設としての機能を維持していくため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・受水槽更新 ・非常用発電機更新 ・吸収冷温水機更新 ・舞台機構設備更新 ・舞台音響設備更新 ・非常照明設備更新
		建築年	1974						A	高		
		経過年数	51						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	7,481.66						整備手法			
		利用者数（人）	70,661						維持保全			
2	三の丸芸術ホール	所管課	文化振興課	78	53.7	15.1	13,610	50.0	現況評価	政策的評価	舞台機構設備の改修が実施できていないため、ホールの貸館にも影響が出る恐れがある。展示室南ドアの開閉ができない状態が続いている。屋外、受水槽のFRPの劣化も始まっているため、改修が望まれる。正面玄関部が年配者にとって、危険であるため改修が望まれる。	市の芸術文化の拠点施設としての機能を維持するため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・外壁工事 ・舞台音響設備改修 ・舞台照明設備改修 ・正面玄関改修 ・展示室扉修繕
		建築年	1986						A	高		
		経過年数	39						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	2,323.10						整備手法			
		利用者数（人）	35,081						維持保全			

１．市民サービス系施設
②社会教育系施設（公民館）

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
3	郷谷公民館	所管課	生涯学習課	82	53.3	18.7	1,808	51.3	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化により、定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1994						A	高		
		経過年数	31						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,008.53						整備手法			
		利用者数（人）	18,907						維持保全			
4	中部公民館	所管課	生涯学習課	124	48.7	21.0	727	55.7	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1963						ＢⅠ	高		
		経過年数	62						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,163.07						整備手法			
		利用者数（人）	24,457						維持保全			
5	大島公民館	所管課	生涯学習課	50	56.8	16.2	2,363	47.3	現況評価	政策的評価	施設及び設備の定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	2006						ＢⅡ	高		
		経過年数	19						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,026.00						整備手法			
		利用者数（人）	16,603						維持保全			
6	赤羽公民館	所管課	生涯学習課	78	53.7	11.8	15,282	25.7	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1986						ＢⅡ	高		
		経過年数	39						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,406.33						整備手法			
		利用者数（人）	16,533						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
7	六郷公民館	所管課	生涯学習課	72	54.4	21.6	3,407	53.1	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1989						A	高		
		経過年数	36						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	966.38						整備手法			
		利用者数（人）	20,845						維持保全			
8	三野谷公民館	所管課	生涯学習課	12	61.0	15.4	1,163	47.7	現況評価	政策的評価	令和元年に建替えを行った新しい施設である。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	2019						ＢⅡ	高		
		経過年数	6						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,043.52						整備手法			
		利用者数（人）	16,090						維持保全			
9	多々良公民館	所管課	生涯学習課	90	52.4	24.9	4,422	56.3	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1980						A	高		
		経過年数	45						基本となる方向性			
		構造	SRC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,245.91						整備手法			
		利用者数（人）	31,061						維持保全			
10	渡瀬公民館	所管課	生涯学習課	88	52.6	17.9	1,315	50.9	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1981						A	高		
		経過年数	44						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,054.29						整備手法			
		利用者数（人）	18,901						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
11	分福公民館	所管課	生涯学習課	82	53.3	18.2	1,388	51.1	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1984						A	高		
		経過年数	41						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	735.03						整備手法			
		利用者数（人）	13,388						維持保全			
12	西公民館	所管課	生涯学習課	97	51.6	22.3	2,548	55.2	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1988						A	高		
		経過年数	37						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	836.16						整備手法			
		利用者数（人）	18,679						維持保全			
13	城沼公民館	所管課	生涯学習課	54	56.3	22.4	2,216	55.7	現況評価	政策的評価	施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。	施設や設備の改修については緊急性や地域の特性を踏まえながら検討する。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1998						A	高		
		経過年数	27						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,049.63						整備手法			
		利用者数（人）	23,557						維持保全			

１．市民サービス系施設

③社会教育系施設（図書館、博物館、資料館等）

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
14	向井千秋記念子ども科学館	所管課	向井千秋記念子ども科学館	68	54.8	12.6	22,072	41.6	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでおり、空調機器等の改修が必要となっている。	保守点検業務や巡回による建物および設備の適正な維持管理と計画的な改修を行い、安全安心な利用を図る。 【主な改修計画等】 ・空調機器改修 ・デジタルプラネタリウム機器更新 ・屋上防水等補修工事
		建築年	1991						ＢⅡ	高		
		経過年数	34						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	4,976.75						整備手法			
		利用者数（人）	62,642						維持保全			
15	図書館	所管課	図書館	102	51.1	23.8	20,648	43.1	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。懸念事項とされていた排水関係の部分（トイレ、給湯室含む）については令和５年度に大規模改修工事を実施した。しかし空調関係については更新工事が令和８年度予定であるが、令和７年度時点でも水漏れや吸収冷温水機などさまざまな部分の故障等が出ている。	生涯学習の拠点であることから、老朽設備の改修を順次行い、引き続き施設の存続・長期利用を図る。また、施設運営は計画的な点検を行い、突発的な修繕を未然に防止する。 【主な改修計画等】 ・冷暖房設備改修 ・屋上防水工事 ・壁面改修工事 ・エレベーター設置もしくは文化会館との空中通路設置
		建築年	1974						ＢⅡ	高		
		経過年数	51						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,981.60						整備手法			
		利用者数（人）	47,176						維持保全			
16	第一資料館	所管課	文化振興課	94	52.0	38.0	5,435	53.0	現況評価	政策的評価	図書館を間借りしている。老朽化しており、展示ケースの壁や床、展示台のクロスの張替え、補修が必要となっている。また、収蔵庫は逼迫しており、資料保管に適した空調設備もないため、改修が必要。	市の歴史文化の拠点施設としての機能を維持していくため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・展示リニューアル ・屋上防水改修 ・展示室改修 ・照明設備改修 ・空調機器改修 ・収蔵庫改修
		建築年	1978						Ａ	高		
		経過年数	47						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	514.40						整備手法			
		利用者数（人）	19,559						維持保全			
17	田山花袋記念文学館	所管課	文化振興課	78	53.7	6.9	16,992	44.3	現況評価	政策的評価	資料保管に適した空調設備や窓やドアへの改修が必要となっている。屋根樋付近を含む外壁の浮きが発生しており、早急に補強を行う必要がある。また、中庭のタイルの剥離が目立っているため、改修が必要。 周囲の高木からの落葉で樋がつまり雨漏り発生の原因となっているため、剪定が必要。	田山花袋顕彰・地域文学振興の拠点施設としての機能を維持していくため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・展示リニューアル ・展示室窓及びドア改修 ・給水管敷設替 ・照明設備改修 ・空調機器更新 ・池埋立ろ過機撤去 ・物置更新 ・トイレ洋式化
		建築年	1986						ＢⅡ	高		
		経過年数	39						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	488.00						整備手法			
		利用者数（人）	3,349						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
18	第二資料館（管理棟）	所管課	文化振興課	116	33.6	224.3	12,053	60.0	現況評価	政策的評価	市史編さんセンターの事務所となっている。老朽化が進んでおり、外壁や屋根の痛みが目立ってきている。また、空調設備の効きが悪くなっており、改修が必要。令和６年度に照明のLED化完了。	市の歴史文化の拠点施設、日本遺産「里沼」普及の拠点施設としての機能を維持していくため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・管理棟塗装替及び樋補修 ・外壁交換修理 ・カーペット交換 ・消防設備更新 ・排水管・枡交換
		建築年	1981						ＢＩ	高		
		経過年数	44						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	52.00						整備手法			
		利用者数（人）	11,663						維持保全			
19	鷹匠町長屋門	所管課	共生社会推進課	71	54.5	5.4	5,455	51.0	現況評価	政策的評価	腰板の塗装剝がれのため、塗替えが必要である。毎年敷地内の植栽剪定や、除草作業等が必要である。	市民活動の拠点として活用するため、設備の修繕・改修を順次実施し、施設の長期利用を図る。また、施設の維持管理については、定期的に点検を実施することで、効果的な施設管理を行い、コストの縮減を図る。
		建築年	2008						Ａ	高		
		経過年数	17						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	83.95						整備手法			
		利用者数（人）	455						維持保全			
20	青少年センター	所管課	生涯学習課	124	48.7	－	0	55.8	現況評価	政策的評価	老朽化のため、施設及び設備の定期的な改修が必要となっている。	老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。
		建築年	1963						ＢＩ	高		
		経過年数	62						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	33.00						整備手法			
		利用者数（人）	－						維持保全			

１．市民サービス系施設
④社会教育系施設（集会所）

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
21	田北東集会所	所管課	生涯学習課	192	41.3	2.4	797	42.9	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。耐震改修工事を実施済み。	施設や設備の改修については老朽設備の順次改修を検討し、施設の存続と長期利用を図る。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1979						C	高		
		経過年数	46						基本となる方向性			
		構造	W造						当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める			
		延床面積（㎡）	144.91						整備手法			
		利用者数（人）	353						維持保全			
22	野辺集会所	所管課	生涯学習課	200	40.3	4.5	322	57.1	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。耐震改修工事を実施済み。	施設や設備の改修については老朽設備の順次改修を検討し、施設の存続と長期利用を図る。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1975						ＢＩ	高		
		経過年数	50						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	159.88						整備手法			
		利用者数（人）	712						維持保全			

１．市民サービス系施設

⑤スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ系施設）

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
23	市民体育館	所管課	スポーツ振興課	112	50.0	7.9	1,710	55.8	現況評価	政策的評価	経年劣化による床面の剥離が生じているほか、照明の修繕が課題となっている。また、トイレの給排水に不具合が生じている。	経年劣化の状況や安全性を考慮し、施設機能の維持を図るよう、不具合箇所の修繕・改修を進め、施設の長期利用を行う。 【主な改修計画等】 ・床面張替 ・照明設備（LED化）改修
		建築年	1969						ＢⅠ	高		
		経過年数	56						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,456.34						整備手法			
		利用者数（人）	11,465						維持保全			
24	城沼市民プール（管理更衣棟、トイレ）	所管課	スポーツ振興課	78	53.7	1.7	2,320	48.2	現況評価	政策的評価	プール槽の表面劣化や床のひび割れがある。また、配管の漏水及びウォータースライダー用の螺旋階段の劣化のため、使用できない状態。	経年劣化の状況や安全性を考慮し、不具合箇所の小規模な修繕を実施しながら、プール運営を行う。安全に運営ができなくなってしまった場合には、大規模改修は行わず、「廃止」とする。
		建築年	1986						ＢⅡ	低		
		経過年数	39						基本となる方向性			
		構造	RC造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	895.83 (11,480.00)						整備手法			
		利用者数（人）	19,905						廃止 （条件付き）			
25	城沼弓道場（射場、的場）	所管課	スポーツ振興課	20	60.1	10.4	0	59.4	現況評価	政策的評価	他のスポーツ施設に比べて新しい施設で、安土（※）の崩れや防矢ネットの修繕を行い、施設の機能について問題はない。 ※安土（あづち）：弓道で的を掛けるために土や砂を土手状に固めた盛り土	経年劣化の状況や安全性を考慮し、施設機能の維持を図るよう、不具合箇所の修繕・改修を進め、施設の長期利用を行う。
		建築年	2015						Ａ	高		
		経過年数	10						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	202.74 (632.34)						整備手法			
		利用者数（人）	6,598						維持保全			
26	城沼庭球場（管理棟、器具庫等）	所管課	スポーツ振興課	82	53.3	4.8	20	52.6	現況評価	政策的評価	照明設備の劣化が進んでいる。夜間照明（LED化）改修に向け、調整中。一部人工芝の剥離があり、人工芝の張り替えが必要。	経年劣化の状況や安全性を考慮し、施設機能の維持を図るよう、不具合箇所の修繕・改修を進め、施設の長期利用を行う。 【主な改修計画等】 ・夜間照明（LED化）改修 ・人工芝張替
		建築年	1984						Ａ	高		
		経過年数	41						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	232.00 (6,814.50)						整備手法			
		利用者数（人）	32,726						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
27	城沼野球場（ベンチ、更衣室等）	所管課	スポーツ振興課	84	53.1	0.6	15	47.5	現況評価	政策的評価	利用者の安全を考慮した外野フェンスへのクッション設置は設置済である。国民スポーツ大会開催に向けたグラウンドや本部棟の改修、電光掲示板の設置に向け検討を行っている。夜間照明（LED化）への改修も課題となっている。	経年劣化の状況や安全性を考慮し、施設機能の維持を図るよう、不具合箇所の修繕・改修を進め、施設の長期利用を行う。 国民スポーツ大会開催に向けた施設改修を行う。 【主な改修計画等】 ・グラウンド改修 ・防球ネット改修 ・電光掲示板設置 ・夜間照明(LED化)改修
		建築年	1983						ＢⅡ	高		
		経過年数	42						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	339.80 (18,194.00)						整備手法			
		利用者数（人）	11,814						維持保全			
28	城沼陸上競技場（スタンド）	所管課	スポーツ振興課	84	53.1	0.3	78	47.1	現況評価	政策的評価	クレイ（土）のトラックのため、雨によりぬかるみやすく、雨後に使用できるまで時間を要している。 本部棟を含め競技場内が地盤沈下の影響を受けている。また、音響設備の劣化が進んでいる。	経年劣化の状況や安全性を考慮し、施設機能の維持を図るよう、不具合箇所の修繕・改修を進め、施設の長期利用を行う。 【主な改修計画等】 ・トラック改修 ・本部棟改修 ・音響設備更新
		建築年	1983						ＢⅡ	高		
		経過年数	42						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	177.40 (27,794.00)						整備手法			
		利用者数（人）	8,504						維持保全			
29	城沼総合体育館	所管課	スポーツ振興課	88	52.6	8.3	49,593	42.5	現況評価	政策的評価	建設から４０年が経過しており、複数箇所で雨漏りが散見される。夏季の熱中症対策のため、令和６年度に空調設置工事を実施済。バリアフリー化の一環としてのエレベーター設置工事や館内照明をLED照明にするための改修工事を実施中。	経年劣化の状況や安全性、バリアフリー化を考慮し、施設機能の維持を図るよう、不具合箇所の修繕・改修を進め、施設の長期利用を行う。 国民スポーツ大会開催に向けた施設整備を行う。 【主な改修計画等】 ・西側及び北側外壁改修 ・身障者用トイレ増設 ・床面張替
		建築年	1981						ＢⅡ	高		
		経過年数	44						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	7,011.14						整備手法			
		利用者数（人）	58,275						維持保全			
30	市営テニスコート（器具庫）	所管課	スポーツ振興課	200	40.3	0.2	36	47.0	現況評価	政策的評価	水はけが悪く、雨天後の利用に時間を要する。 器具庫の老朽化から雨漏りしている箇所を部分補修している状況。また、アーチェリー用の防矢板が敷地内に設置されており、風雨による傷みが激しいことから、定期的な整備が必要となっている。	経年劣化の状況や安全性を考慮し、施設機能の維持を図るよう、不具合箇所の修繕・改修を進め、施設の長期利用を行う。 【主な改修計画等】 ・テニス用ラインテープ張替 ・アーチェリー場(防矢壁)の整備
		建築年	1970						C	高		
		経過年数	55						基本となる方向性			
		構造	W造						当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める			
		延床面積（㎡）	18.00 (2,832.00)						整備手法			
		利用者数（人）	637						維持保全			

１．市民サービス系施設

⑥スポーツ・レクリエーション系施設（レクリエーション系施設）

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
31	サイクリングターミナル	所管課	つつじのまち観光課	64	55.3	11.3	15,816	41.3	現況評価	政策的評価	令和５年度に大規模改修を行った。令和６年度より指定管理者が決まり、管理運営を行っている。	指定管理者による管理運営を行っていく。計画的に点検を実施させ、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1993						ＢⅡ	高		
		経過年数	32						基本となる方向性			
		構造	SRC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,587.04						整備手法			
		利用者数（人）	18,009						維持保全			
32	サイクリングターミナル南側公園公衆トイレ	所管課	つつじのまち観光課	4	61.8	－	7,604	60.0	現況評価	政策的評価	令和６年４月に新築した新しい施設である。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	2024						Ａ	高		
		経過年数	1						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	100.20						整備手法			
		利用者数（人）	1,497						維持保全			
33	旧秋元別邸	所管課	つつじのまち観光課	200	24.4	96.5	1,567	58.6	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1961						ＢⅠ	高		
		経過年数	64						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	417.05						整備手法			
		利用者数（人）	40,259						維持保全			
34	つつじが岡ふれあいセンター	所管課	つつじのまち観光課	76	53.9	12.0	1,226	50.1	現況評価	政策的評価	映像機器の不具合が頻繁に発生しているため機器の更新が必要。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1987						Ａ	高		
		経過年数	38						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,903.35						整備手法			
		利用者数（人）	22,895						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
35	つつじが岡公園正面券売所	所管課	つつじのまち観光課	117	49.5	-	11,493	54.6	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1997						ＢⅠ	高		
		経過年数	28						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	106.81						整備手法			
		利用者数（人）	98,472						維持保全			
36	つつじが岡公園観光案内所	所管課	つつじのまち観光課	58	55.9	-	12,053	53.8	現況評価	政策的評価	改修、修繕などを計画的に行い、施設保全に努める。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	2011						A	高		
		経過年数	14						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	101.85						整備手法			
		利用者数（人）	288,948						維持保全			
37	つつじが岡公園総合管理事務所	所管課	つつじのまち観光課	105	50.7	-	22,201	39.7	現況評価	政策的評価	改修、修繕などを計画的に行い、施設保全に努める。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1985						ＢⅡ	高		
		経過年数	40						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	381.50						整備手法			
		利用者数（人）	288,948						維持保全			
38	つつじが岡公園旧管理事務所	所管課	つつじのまち観光課	84	53.1	-	1,031	69.2	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1983						A	高		
		経過年数	42						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	373.54						整備手法			
		利用者数（人）	288,948						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
39	つつじが岡公園（花山）公衆トイレ１号	所管課	つつじのまち観光課	158	44.9	－	10,165	56.5	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1987						ＢＩ	高		
		経過年数	38						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	74.95						整備手法			
		利用者数（人）	36,118						維持保全			
40	つつじが岡公園（花山）公衆トイレ３号	所管課	つつじのまち観光課	150	45.8	－	29,191	29.9	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	つつじまつりの期間以外は使用していない、かつ、近くに４号トイレがあるため、廃止の方向で検討を進める。
		建築年	1989						Ｃ	低		
		経過年数	36						基本となる方向性			
		構造	W造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	26.10						整備手法			
		利用者数（人）	36,118						再編（集約化）			
41	つつじが岡公園（花山）公衆トイレ４号	所管課	つつじのまち観光課	129	48.1	－	14,728	50.1	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1994						ＢＩ	高		
		経過年数	31						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	51.73						整備手法			
		利用者数（人）	36,118						維持保全			
42	つつじが岡公園（花山）公衆トイレ５号	所管課	つつじのまち観光課	129	48.1	－	12,475	53.2	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1994						ＢＩ	高		
		経過年数	31						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	61.07						整備手法			
		利用者数（人）	36,118						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
43	つつじが岡公園（花山）公衆トイレ６号	所管課	つつじのまち観光課	129	48.1	-	17,531	46.2	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1994						C	高		
		経過年数	31						基本となる方向性			
		構造	W造						当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める			
		延床面積（㎡）	43.46						整備手法			
		利用者数（人）	36,118						維持保全			
44	つつじが岡公園（花山）公衆トイレ７号	所管課	つつじのまち観光課	129	48.1	-	17,040	46.9	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1994						C	高		
		経過年数	31						基本となる方向性			
		構造	W造						当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める			
		延床面積（㎡）	44.71						整備手法			
		利用者数（人）	36,118						維持保全			
45	つつじが岡公園（花山）公衆トイレ８号	所管課	つつじのまち観光課	84	53.1	-	22,303	39.5	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1983						ＢⅡ	高		
		経過年数	42						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	34.16						整備手法			
		利用者数（人）	36,118						維持保全			
46	つつじが岡公園（花山）公衆トイレ９号	所管課	つつじのまち観光課	102	51.0	-	14,512	50.4	現況評価	政策的評価	建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。	施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。
		建築年	1983						A	高		
		経過年数	42						基本となる方向性			
		構造	CB造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	52.50						整備手法			
		利用者数（人）	36,118						維持保全			

１．市民サービス系施設

⑦産業系施設

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
47	勤労者会館	所管課	商工課	147	30.2	0.9	892	47.8	現況評価	政策的評価	建物の老朽化（建築５５年）が進んでいる。耐震基準を満たしていないことから、今後の維持管理が困難な状況。随時、水回りや施設の点検を行っている。	利用団体と協議の上、今後の廃止に向けた協議を行う。
		建築年	1969						C	低		
		経過年数	56						基本となる方向性			
		構造	S造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	327.75						整備手法			
		利用者数（人）	295						廃止			
48	産業振興センター	所管課	財政課	126	32.5	-	0	55.8	現況評価	政策的評価	貸付施設である。建物の老朽化が進んでいる。	老朽化しており、異常箇所があれば修繕を行う。現段階では建替え等の予定はなく、現状維持の方針。
		建築年	1962						ＢＩ	高		
		経過年数	63						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,326.87						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
49	館林地区高等職業訓練校	所管課	財政課/商工課	200	24.4	0.3	0	49.4	現況評価	政策的評価	貸付施設である。建物の老朽化が進んでおり、必要に応じて借受人にて修繕等を行っている。	老朽化が深刻であり、利用団体と除却に向けた協議を行っている。
		建築年	1926						C	低		
		経過年数	99						基本となる方向性			
		構造	W造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	195.00						整備手法			
		利用者数（人）	66						廃止（条件付き）			

１．市民サービス系施設
⑧学校教育系施設

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
50	第一小学校	所管課	教育総務課	110	50.2	0.08	617	60.1	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・トイレ改修
		建築年	1970						A	高		
		経過年数	55						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,355.00						整備手法			
		利用者数（人）	514						維持保全			
51	第二小学校	所管課	教育総務課	112	50.0	0.05	1,010	52.3	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1968						ＢⅠ	高		
		経過年数	56						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	5,468.00						整備手法			
		利用者数（人）	271						維持保全			
52	第三小学校	所管課	教育総務課	76	53.9	0.06	14,155	44.3	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1987						ＢⅡ	高		
		経過年数	38						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,018.00						整備手法			
		利用者数（人）	348						維持保全			
53	第四小学校	所管課	教育総務課	72	54.4	0.01	684	43.2	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1989						ＢⅡ	高		
		経過年数	36						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	4,938.00						整備手法			
		利用者数（人）	55						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
54	第五小学校	所管課	教育総務課	98	51.5	0.06	908	55.6	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1976						A	高		
		経過年数	49						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	4,394.00						整備手法			
		利用者数（人）	277						維持保全			
55	第六小学校	所管課	教育総務課	104	50.9	0.05	556	51.8	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・屋上防水改修 ・外壁改修
		建築年	1973						A	高		
		経過年数	52						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,114.00						整備手法			
		利用者数（人）	281						維持保全			
56	第七小学校	所管課	教育総務課	96	51.7	0.02	922	46.0	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1977						ＢⅡ	高		
		経過年数	48						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	4,255.00						整備手法			
		利用者数（人）	99						維持保全			
57	第八小学校	所管課	教育総務課	100	51.3	0.06	1,185	55.7	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1975						A	高		
		経過年数	50						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,679.00						整備手法			
		利用者数（人）	430						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
58	第九小学校	所管課	教育総務課	92	52.2	0.04	17,870	38.1	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1978						ＢⅡ	高		
		経過年数	46						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	3,676.00						整備手法			
		利用者数（人）	162						維持保全			
59	第十小学校	所管課	教育総務課	92	52.2	0.08	514	58.8	現況評価	政策的評価	大規模改修を実施済みであり、比較的状態は良いが劣化状況に応じた計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1979						Ａ	高		
		経過年数	46						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,580.00						整備手法			
		利用者数（人）	494						維持保全			
60	美園小学校	所管課	教育総務課	68	54.8	0.05	11,799	44.0	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1990						ＢⅡ	高		
		経過年数	34						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,991.00						整備手法			
		利用者数（人）	344						維持保全			
61	第一中学校	所管課	教育総務課	96	51.7	0.05	548	53.2	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。また、柔剣道場が老朽化しており、計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・体育館空調
		建築年	1977						Ａ	高		
		経過年数	48						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	8,685.00						整備手法			
		利用者数（人）	429						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
62	第二中学校	所管課	教育総務課	44	57.4	0.04	1,092	42.9	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。また、柔剣道場が老朽化しており、計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・体育館空調
		建築年	2002						ＢⅡ	高		
		経過年数	22						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,885.00						整備手法			
		利用者数（人）	247						維持保全			
63	第三中学校	所管課	教育総務課	110	50.2	0.06	2,113	46.0	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・体育館空調
		建築年	1970						ＢⅡ	高		
		経過年数	55						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,791.00						整備手法			
		利用者数（人）	380						維持保全			
64	第四中学校	所管課	教育総務課	80	53.5	0.06	503	57.6	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・体育館空調
		建築年	1984						Ａ	高		
		経過年数	40						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	7,425.00						整備手法			
		利用者数（人）	429						維持保全			
65	多々良中学校	所管課	教育総務課	90	52.4	0.06	1,898	50.3	現況評価	政策的評価	大規模改修を実施済みであり、比較的状態はよいが劣化状況に応じた計画的な改修が必要。	学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・体育館空調
		建築年	1980						Ａ	高		
		経過年数	45						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,083.00						整備手法			
		利用者数（人）	376						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
66	教育研究所	所管課	学校教育課	124	48.7	4.6	1,955	49.9	現況評価	政策的評価	老朽化のため、雨漏りが発生している。事務室、各相談室の照明のLED化が必要である。	教育研究事業や教育相談事業、教育支援センター「ふれあい学級」を中心とした運営を行っており、老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、ライフサイクルコストの縮減を図る。
		建築年	1963						C	高		
		経過年数	62						基本となる方向性			
		構造	RC造						当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める			
		延床面積（㎡）	500.00						整備手法			
		利用者数（人）	2,315						維持保全			
67	学校給食センター	所管課	学校給食センター	18	60.2	－	－	－	現況評価	政策的評価	平成３０年度に整備された比較的新しい施設であり、現在まで大きな劣化は見られない。計画的に設備更新や軽微な修繕を実施しながら、適切に維持管理を行っている。	令和１５年度まではPFI事業契約における維持管理・運営期間であるため、維持管理・運営は引き続きPFI事業者が行い、市はモニタリングを実施する。令和１２年頃から、事業期間終了を見据え、期間終了後における対応等について、PFI事業者との協議および市内部での検討を進めていく。
		建築年	2018						A	高		
		経過年数	7						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	3,666.62						整備手法			
		利用者数（人）	－						維持保全			

１．市民サービス系施設

⑨子育て支援施設

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
68	北こども園	所管課	教育総務課/こども課	74	54.2	0.10	1,642	59.2	現況評価	政策的評価	令和５年度より北幼稚園から北こども園として開園したが、老朽化している機器等もあるため、計画的な更新が必要である。	老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1988						A	高		
		経過年数	37						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,246.00						整備手法			
		利用者数（人）	120						維持保全			
69	東こども園	所管課	教育総務課/こども課	78	53.7	0.04	2,562	42.7	現況評価	政策的評価	令和５年度より東幼稚園から東こども園として開園したが、外壁の劣化や老朽化した機器等もあるため、計画的な更新が必要である。	老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1986						ＢⅡ	高		
		経過年数	39						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	608.00						整備手法			
		利用者数（人）	26						維持保全			
70	南こども園	所管課	こども課	0	62.3	－	－	－	現況評価	政策的評価	令和７年度より新園舎で開園したため、施設に大きな不具合等は無く適切に管理できている。	適切な施設の存続・長期利用のため、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	2025						A	高		
		経過年数	0						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,547.82						整備手法			
		利用者数（人）	－						維持保全			
71	南こども園（旧南保育園）	所管課	こども課	84	53.1	0.14	2,374	57.5	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	令和７年度に南こども園新園舎開園により同年度解体予定。
		建築年	1983						A	高		
		経過年数	42						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	488.11						整備手法			
		利用者数（人）	69						再編			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
72	杉並幼稚園	所管課	教育総務課/こども課	102	51.1	0.04	802	57.1	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化及び職員用出入口の建付も悪くなっているため、計画的な改修が必要である。	少子化の影響と大規模改修の費用対効果を比較検討し、都市機能誘導の観点から隣接する六郷保育園との一体的な利用を図ることを念頭に置き、認定こども園化に向けた施設整備を検討する。また、年度毎の施設改修など、計画的な保全を行う。
		建築年	1974						A	高		
		経過年数	51						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,103.00						整備手法			
		利用者数（人）	49						再編			
73	西幼稚園	所管課	教育総務課/こども課	88	52.6	0.03	1,362	42.9	現況評価	政策的評価	老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装(床、壁)の劣化があり、計画的な改修が必要である。	老朽設備の改修及び計画的な点検等を実施することで、費用の平準化を図りつつ認定こども園化の計画を踏まえ、園舎の老朽化対策に取り組む。
		建築年	1981						ＢⅡ	高		
		経過年数	44						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,080.00						整備手法			
		利用者数（人）	32						再編			
74	東保育園	所管課	こども課	72	54.4	0.09	2,401	50.8	現況評価	政策的評価	適宜必要な修繕・工事を行いながら維持管理を行っているが、機器等の老朽化が進んでいるため計画的な更新が必要である。	老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。さらに地盤沈下の影響が各所に見られるため、大規模な改修が必要となる。
		建築年	1989						A	高		
		経過年数	36						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	758.35						整備手法			
		利用者数（人）	71						維持保全			
75	六郷保育園	所管課	こども課	96	51.7	0.08	2,305	48.1	現況評価	政策的評価	老朽化により外壁・内壁にひびの発生や給水管の劣化が進んでおり、大規模な改修が必要である。	少子化の影響と大規模改修の費用対効果を比較検討し、都市機能誘導の観点から隣接する杉並幼稚園との一体的な利用を図ることを念頭に置き、認定こども園化に向けた施設整備を検討する。また、年度毎の施設改修など、計画的な保全を行う。
		建築年	1977						ＢⅡ	高		
		経過年数	48						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,071.40						整備手法			
		利用者数（人）	84						再編			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
76	多々良保育園	所管課	こども課	76	53.9	0.09	2,058	51.4	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでおり、水道及び浄化槽の漏水などが発生したため、設備の計画的な改修が必要である。	老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1987						A	高		
		経過年数	38						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	468.53						整備手法			
		利用者数（人）	45						維持保全			
77	渡瀬保育園	所管課	こども課	63	55.3	0.08	14,540	35.1	現況評価	政策的評価	比較的新しい施設であり、令和６年度にエアコンの全面改修を行うなど、施設改修に努めている。	令和８年度より民間事業者に建物を譲渡し、民営化予定。
		建築年	2001						ＢⅡ	高		
		経過年数	24						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	980.30						整備手法			
		利用者数（人）	79						維持保全			
78	美園保育園	所管課	こども課	54	56.3	0.09	1,321	50.7	現況評価	政策的評価	比較的新しい施設であるが、厨房機器等の老朽化に伴う不具合が出始めており、設備の計画的な改修が必要である。	老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1998						A	高		
		経過年数	27						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	962.14						整備手法			
		利用者数（人）	84						維持保全			
79	成島保育園	所管課	こども課	58	55.9	0.08	3,455	47.6	現況評価	政策的評価	比較的新しい施設であり、令和７年度にエアコンの全面改修を行うなど、施設改修に努めている。	令和８年度より民間事業者に建物を譲渡し、民営化予定。
		建築年	2003						ＢⅡ	高		
		経過年数	22						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,428.52						整備手法			
		利用者数（人）	118						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
80	松波保育園	所管課	こども課	121	49.0	0.09	2,167	50.4	現況評価	政策的評価	老朽化により引戸やロッカー扉及び厨房機器などに不具合が出始めており、設備の計画的な改修が必要である。	老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	1979						ＢⅠ	高		
		経過年数	46						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	699.62						整備手法			
		利用者数（人）	63						維持保全			
81	三野谷保育園（認定こども園MINOYA）	所管課	こども課	64	55.3	0.2	43	65.9	現況評価	政策的評価	平成１８年度の民営化により、社会福祉法人が施設の維持・保全を行っている。	社会福祉法人と、建物の譲渡について協議を進める。
		建築年	1993						Ａ	高		
		経過年数	32						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	861.05						整備手法			
		利用者数（人）	139						維持保全			
82	児童センター	所管課	こども課	86	52.8	27.7	1,968	49.4	現況評価	政策的評価	施設内トイレの洋式化やLED化の工事が必要となっている。 遊戯室ガスエアコン老朽化により、修繕不能部分があるため更新することが急務となっている。 屋外プール、更衣室の老朽化が著しく使用を停止しているため、安全管理上早期の改修が必要である。大型遊具が老朽化していることにより、修繕や改修が必要となっている。	これまで施設貸与していた学童保育が移転するため、中高生の場所づくり等、新たなニーズを踏まえた施設改修を図る。 職員による日常点検、業者による保守点検を行い、危険箇所の早期発見に努める。 【主な改修計画等】 ・トイレ洋式化 ・集会室の改修工事 ・LEDの設置 ・遊戯室エアコン更新 ・屋外のプール　更
		建築年	1982						ＢⅡ	高		
		経過年数	43						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	737.37						整備手法			
		利用者数（人）	20,406						維持保全			
83	西児童館	所管課	こども課	74	54.2	57.5	5,067	49.8	現況評価	政策的評価	LED化の工事が必要となっている。 外壁及び塗装の劣化により防水機能に問題があり、外壁の塗装・防水補修修繕が必要である。 戸外大型遊具撤去により、新しい遊具設置が必要である。	児童の居場所、親子のふれあいの場であることから、老朽設備を順次改修して、施設の存続を図る。 職員による日常点検、業者による保守点検を行い、危険箇所の早期発見に努める。 【主な改修計画等】 ・LEDの設置 ・外壁防水・塗装修繕 ・遊具設置
		建築年	1988						ＢⅡ	高		
		経過年数	37						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	362.79						整備手法			
		利用者数（人）	20,878						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
84	赤羽児童館	所管課	こども課	84	53.0	37.15	2,503	50.8	現況評価	政策的評価	LED化の工事が必要になっている。 外壁及び塗装の劣化により防水機能に問題があり、雨漏りが生じているため、外壁の塗装・防水補修修繕が必要である。	児童の居場所、親子のふれあいの場であることから、老朽設備を順次改修して、施設の存続を図る。 職員による日常点検、業者による保守点検を行い、危険箇所の早期発見に努める。 【主な改修計画等】 ・LEDの設置 ・外壁の塗装・防水工事
		建築年	1993						A	高		
		経過年数	32						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	420.72						整備手法			
		利用者数（人）	15,630						維持保全			
85	わたらせ学童クラブ	所管課	こども課	46	57.2	0.31	660	32.3	現況評価	政策的評価	比較的新しい施設である。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2014						ＢⅡ	高		
		経過年数	11						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	158.99						整備手法			
		利用者数（人）	49						維持保全			
86	赤羽児童クラブ	所管課	こども課	58	55.9	0.41	0	51.6	現況評価	政策的評価	比較的新しい施設である。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2011						A	高		
		経過年数	14						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	117.59						整備手法			
		利用者数（人）	48						維持保全			
87	みのやレインボークラブ	所管課	こども課	58	55.9	0.31	0	49.0	現況評価	政策的評価	比較的新しい施設である。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2011						ＢⅡ	高		
		経過年数	14						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	117.59						整備手法			
		利用者数（人）	36						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
88	元気っ子児童クラブ	所管課	こども課	96	51.8	0.73	0	59.9	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2002						A	高		
		経過年数	23						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	81.15						整備手法			
		利用者数（人）	60						維持保全			
89	第二元気っ子児童クラブ	所管課	こども課	67	55.0	0.60	0	56.5	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2009						A	高		
		経過年数	16						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	99.37						整備手法			
		利用者数（人）	60						維持保全			
90	第１美園学童クラブ	所管課	こども課	104	50.8	0.33	0	49.5	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2000						ＢⅡ	高		
		経過年数	25						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	99.37						整備手法			
		利用者数（人）	33						維持保全			
91	第２美園学童クラブ	所管課	こども課	71	54.5	0.33	0	49.5	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2008						ＢⅡ	高		
		経過年数	17						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	92.75						整備手法			
		利用者数（人）	31						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
92	風の子クラブ	所管課	こども課	88	52.7	0.76	0	60.5	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 令和８年３月の新施設での運営開始に向けて施設整備を進める。
		建築年	2004						A	高		
		経過年数	21						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	101.02						整備手法			
		利用者数（人）	77						維持保全			
93	アザレア学童クラブ	所管課	こども課	200	40.3	0.17	62	43.9	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	1970						C	高		
		経過年数	55						基本となる方向性			
		構造	W造						当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める			
		延床面積（㎡）	142.43						整備手法			
		利用者数（人）	25						維持保全			
94	あすなろ学童クラブ	所管課	こども課	47	57.1	0.31	0	49.0	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2007						ＢⅡ	高		
		経過年数	18						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	125.92						整備手法			
		利用者数（人）	39						維持保全			
95	三小東学童クラブ	所管課	こども課	38	58.2	0.28	0	48.2	現況評価	政策的評価	比較的新しい施設である。	施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。
		建築年	2016						ＢⅡ	高		
		経過年数	9						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	214.06						整備手法			
		利用者数（人）	60						維持保全			

１．市民サービス系施設

⑩保健・福祉施設

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
96	障がい者総合支援センター	所管課	高齢障がい政策課	29	59.1	6.1	386	52.4	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでおり、屋上防水機能の低下も進み、雨漏り箇所等の修繕が必要となっている。空調設備の増設も必要。給湯器用ヒートポンプユニットの不具合もあり、将来的には交換が必要と思われる。	障がい児（者）を総合的に支援する施設として、予防保全を行いながら長期利用を図る。施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減を図るため、日常点検、業務点検により適切な保守・維持管理に努める。 【主な改修計画等】 ・屋上防水改修 ・事務室空調機器増設工事
		建築年	2014						A	高		
		経過年数	11						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,281.91						整備手法			
		利用者数（人）	7,774						維持保全			
97	総合福祉センター	所管課	社会福祉課	64	55.3	7.3	2,183	45.6	現況評価	政策的評価	館内及びプール棟の配管及び空調等の設備の老朽化が著しく、計画的な更新が必要である。	地域福祉の拠点施設として、老朽設備の改修を順次行う。施設運営では、予防保全に努め費用の縮減を図る。大規模改修の際にはユニバーサルデザイン化やPFI方式を検討する。 【主な改修計画等】 ・浄化槽設備改修工事 ・館内照明設備LED化 ・非常用蓄電池等交換工事 ・給排水管交換工事
		建築年	1993						ＢⅡ	高		
		経過年数	32						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	4,771.80						整備手法			
		利用者数（人）	34,713						維持保全			
98	保健センター	所管課	健康推進課	86	52.8	8.1	1,696	49.7	現況評価	政策的評価	エレベーター設備等の老朽化が進んでいる。	市民に対し健康相談、保健指導及び健康診断など、地域保健に関する必要な事業を行う施設であることから、老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。 【主な改修計画等】 ・空調設備改修工事 ・自動扉改修工事
		建築年	1982						ＢⅡ	高		
		経過年数	43						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,230.62						整備手法			
		利用者数（人）	10,000						維持保全			
99	老人福祉センター	所管課	高齢障がい政策課	86	52.8	12.0	2,674	52.3	現況評価	政策的評価	施設の老朽化が進み、修繕・工事の件数が増加している。緊急的に修繕が必要なケースも増加している。	定期利用団体への貸館など一部公民館と似た機能も持っている。 また、施設の老朽化が進み維持管理にかかる負担が増加する見込みのため、近隣施設の動向を見ながら施設の複合化・集約化を検討する方針。
		建築年	1982						A	高		
		経過年数	43						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,275.77						整備手法			
		利用者数（人）	15,346						再編(集約化または複合化)			

１．市民サービス系施設

⑪医療施設

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
100	夜間急病診療所	所管課	健康推進課	84	53.1	3.3	1,069	50.2	現況評価	政策的評価	令和６年度の屋上防水改修工事により、雨漏りはなくなったが、老朽化が進んでおり、大雨時に外壁のクラックから水がしみだしてくることがある。	夜間の急な疾病などの応急処置を行うことができる施設として建替えが行われるまでは、不具合箇所が生じた場合には修繕を行う。計画的な点検を実施し突発的な修繕を未然に防止する。 【主な改修計画等】 ・北面及び東面外壁改修工事
		建築年	1983						A	高		
		経過年数	42						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	220.00						整備手法			
		利用者数（人）	726						維持保全			

２．行政事務系施設

①行政系施設

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
101	市庁舎	所管課	財政課	88	52.6	－	4,577	43.5	現況評価	政策的評価	耐震改修、外壁改修、及びエレベーター改修工事を実施済。建設当初から４５年近く経過しており突発的な不具合も生じているが、随時修繕対応しながら利用している。	施設の長寿命化のため、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図っていく。 【主な改修計画等】 ・空調設備改修工事
		建築年	1981						ＢⅡ	高		
		経過年数	44						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	10,527.64						整備手法			
		利用者数（人）	－						維持保全			
102	市民センター	所管課	財政課	124	48.7	－	6,770	35.8	現況評価	政策的評価	旧館林市庁舎であり、現在は複数の施設が間借りしている状況。老朽化が進んでおり、床面、外壁等補修が必要な箇所がある。	不具合箇所の修繕を行いつつ、民間活用への転用を図るため、関係者協議を進めていく。 【主な改修計画等】 ・屋上防水改修工事 ・エレベーター改修工事
		建築年	1963						Ｃ	高		
		経過年数	62						基本となる方向性			
		構造	RC造						当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める			
		延床面積（㎡）	1,965.04						整備手法			
		利用者数（人）	－						再編（転用（条件付き））			
103	市民センター分室	所管課	財政課	182	26.4	－	1,188	55.5	現況評価	政策的評価	建物の老朽化が進んでいる。	不具合箇所の修繕を行いつつ、民間活用への転用を図るため、関係者協議を進めていく。
		建築年	1934						ＢⅠ	高		
		経過年数	91						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	355.46						整備手法			
		利用者数（人）	－						再編（転用（条件付き））			
104	駅西区画整理事務所	所管課	区画整理課	39	57.9	－	1,188	55.5	現況評価	政策的評価	エアコンの故障により交換を行った。外壁の修繕や電灯のLED化も必要となっている。	施設の存続・長期利用を図る。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	2010						Ａ	高		
		経過年数	15						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	329.60						整備手法			
		利用者数（人）	2,361						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
105	駅西区画整理事務所倉庫	所管課	区画整理課	132	47.8	-	0	59.7	現況評価	政策的評価	西部第二地区の旧組合事務所であり、現在は書庫として利用している。	施設の存続・長期利用を図る。ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	2000						ＢＩ	高		
		経過年数	25						基本となる方向性			
		構造	LGS造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	87.56						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			

３．生活基盤系施設

①公園

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
106	多々良沼野鳥観察棟	所管課	地球環境課	138	47.2	-	3,926	51.4	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいるが、現状は使用に伴う問題は発生していない。	施設再編を検討しつつ、公園利用者の休憩場所、日本遺産等に関する情報発信の拠点として継続して活用していく。
		建築年	1992						ＢＩ	高		
		経過年数	33						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	102.06						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			

３．生活基盤系施設
②供給処理施設

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
107	一般廃棄物最終処分場（浸出水処理施設）	所管課	地球環境課	66	55.0	-	20,268	42.9	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでおり計画的な修繕を実施しているが、突発的な不具合が生じることも多い。	関係法令等に基づき将来的には廃止の方向性であるが、廃止年は未定である。その間も、浸出水の処理基準を維持するために設備の修繕を継続していく必要がある。
		建築年	1992						ＢⅡ	高		
		経過年数	33						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	167.41						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
108	たてばやしストックヤード	所管課	地球環境課	11	61.1	-	0	57.1	現況評価	政策的評価	比較的新しい施設である。	不燃物・資源物・プラスチック類の直接搬入を受ける施設であり、市民の利便性を維持するため、継続して活用していく。
		建築年	2021						A	高		
		経過年数	4						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	223.57						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			

３．生活基盤系施設
③市営住宅

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
109	西本町住宅	所管課	建築課	200	24.4	－	0	61.4	現況評価	政策的評価	解体済（更地＋防草シート）。残１棟あり。	跡地について、売買又は賃貸借を行う。
		建築年	1952						ＢＩ	低		
		経過年数	73						基本となる方向性			
		構造	W造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	28.87						整備手法			
		利用者数（人）	0						廃止			
110	西美園町住宅	所管課	建築課	200	24.4	－	0	61.4	現況評価	政策的評価	耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。一部の更地について、除草等の維持管理が必要。地区に一部貸出しをしている。	現状は入居者がいるため、解体が出来ていない。退去済建物は解体予定だが、予算の関係で除却できていない。 【主な改修計画等】 ・西美園町住宅（１棟）解体
		建築年	1955						ＢＩ	低		
		経過年数	70						基本となる方向性			
		構造	W造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	56.10						整備手法			
		利用者数（人）	2						廃止			
111	広内町住宅（第１～第３）	所管課	建築課	200	24.4	－	0	61.4	現況評価	政策的評価	耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。一部の更地について、除草等の維持管理が必要。地区に一部貸出しをしている。	現状は入居者がいるため、解体が出来ていない。退去済建物は解体予定だが、予算の関係で除却できていない。 【主な改修計画等】 ・広内町住宅（２棟）解体
		建築年	1957						ＢＩ	低		
		経過年数	68						基本となる方向性			
		構造	W造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	221.70						整備手法			
		利用者数（人）	8						廃止			
112	高根町住宅（第１～第２）	所管課	建築課	137	31.3	－	0	61.4	現況評価	政策的評価	耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。入居者が多数いるため、修繕等の費用対効果が課題。空き部屋庭除草等の維持管理が必要。	将来的に用途廃止を検討しているため、維持管理は必要最低限に行う。入居者の退去後、建物を除却する方針。
		建築年	1969						ＢＩ	低		
		経過年数	56						基本となる方向性			
		構造	CB造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	1,033.00						整備手法			
		利用者数（人）	29						廃止			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
113	近藤町住宅（第１～第５）	所管課	建築課	132	31.9	-	116	54.4	現況評価	政策的評価	耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。入居者が多数いるため、修繕等の費用対効果が課題。空き部屋庭除草等の維持管理が必要。	将来的に用途廃止を検討しているため、維持管理は必要最低限に行う。入居者の退去後、建物を除却する方針。
		建築年	1971						ＢＩ	低		
		経過年数	54						基本となる方向性			
		構造	CB造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	3,865.00						整備手法			
		利用者数（人）	79						廃止			
114	朝日町住宅	所管課	建築課	122	32.9	-	18	60.3	現況評価	政策的評価	耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。西側のブロック塀の改修が必要。空き部屋庭除草等の維持管理が必要。	将来的に用途廃止を検討しているため、維持管理は必要最低限に行う。西側のブロック塀は改修予定。 【主な改修計画等】 ・ブロック塀改修工事
		建築年	1975						ＢＩ	低		
		経過年数	50						基本となる方向性			
		構造	CB造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	996.00						整備手法			
		利用者数（人）	9						廃止			
115	東部住宅（第１～第１０）	所管課	建築課	98	35.6	-	274	44.8	現況評価	政策的評価	入居率が低く、空き部屋が目立つ。汚水処理施設が１か所に集約されており、老朽化により多額の修繕費用が掛かる。	将来的に団地内の一部の住宅を用途廃止し、集約化を図る。 【主な改修計画等】 ・給湯設備改修工事 ・空き部屋改修工事 ・LED化工事 ・インターホン設置工事
		建築年	1976						Ｃ	低		
		経過年数	49						基本となる方向性			
		構造	RC造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	16,433.00						整備手法			
		利用者数（人）	247						再編			
116	松原住宅（第１～第２）	所管課	建築課	76	53.9	-	211	48.6	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいるが、立地が比較的よく、入居者も多いが、駐車場が不足している。	耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。 【主な改修計画等】 ・駐車場増設工事 ・LED化工事 ・給湯器交換工事
		建築年	1987						ＢⅡ	高		
		経過年数	38						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	2,565.00						整備手法			
		利用者数（人）	66						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
117	上三林町住宅（第１～第４）	所管課	建築課	74	54.2	-	325	41.7	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。入居率が低く、空き部屋が目立っている。	将来的に団地内の一部の住宅を用途廃止し、集約化を図る。 【主な改修計画等】 ・給湯設備改修工事 ・空き部屋改修工事 ・外装改修工事
		建築年	1988						ＢⅡ	高		
		経過年数	37						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	6,513.00						整備手法			
		利用者数（人）	75						再編			
118	若宮町住宅（第１～第４）	所管課	建築課	68	54.8	-	128	53.7	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいるが、立地が比較的よく、入居者も多い。高層階は空き部屋が出始めている。	耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。 【主な改修計画等】 ・LED化工事 ・インターホン設置工事 ・給水改修工事 ・給湯器取替工事
		建築年	1991						Ａ	高		
		経過年数	34						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	5,804.00						整備手法			
		利用者数（人）	114						維持保全			
119	足次町住宅（第１～第２）	所管課	建築課	66	55.0	-	384	38.2	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。また、高層階の空き部屋が目立つようになっているが、駐車場が不足している。	耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。借地のため、状況に応じて用途廃止の前倒しを検討する。 【主な改修計画等】 ・駐車場増設工事 ・インターホン設置工事 ・給水改修工事
		建築年	1992						ＢⅡ	高		
		経過年数	33						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	2,998.00						整備手法			
		利用者数（人）	77						維持保全			
120	日向町第２住宅	所管課	建築課	64	55.3	-	484	32.1	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。また、高層階の空き部屋が目立つようになっている。	耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。借地のため、状況に応じて用途廃止の前倒しを検討する。 【主な改修計画等】 ・給水改修工事
		建築年	1993						ＢⅡ	高		
		経過年数	32						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,291.00						整備手法			
		利用者数（人）	21						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
121	松沼町住宅（第１～第２）	所管課	建築課	60	55.7	-	330	41.5	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。 【主な改修計画等】 ・給水改修工事 ・給湯器取替工事
		建築年	1995						ＢⅡ	高		
		経過年数	30						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	8,864.00						整備手法			
		利用者数（人）	161						維持保全			
122	栄町住宅	所管課	建築課	44	57.4	-	367	39.2	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。	耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。 【主な改修計画等】 ・LED化工事 ・給水改修工事
		建築年	2003						ＢⅡ	高		
		経過年数	22						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	3,904.00						整備手法			
		利用者数（人）	77						維持保全			

４．その他施設

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
123	館林東西駅前広場連絡通路	所管課	財政課	42	57.7	-	10,380	48.4	現況評価	政策的評価	雨漏りの影響で天井板が劣化している箇所がある。避難時の誘導灯が更新時期を迎えている。	館林東西駅前広場連絡通路点検修繕管理表に基づき、日常点検と予防保全的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る。
		建築年	2009						ＢⅡ	高		
		経過年数	16						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,008.46						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
124	館林駅東口自転車駐車場管理棟	所管課	安全安心課	125	48.6	-	2,611	53.8	現況評価	政策的評価	施設全体が老朽化している。利用者数及び収入が減少している。	放置自転車の数の減少や民間駐輪場との競合を踏まえると、放置自転車対策として設置された当初の役割を果たしたものとして、業務の見直しを行い、将来的に廃止する方向で検討する。
		建築年	1995						ＢⅠ	低		
		経過年数	30						基本となる方向性			
		構造	W造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	2.33 (350.00)						整備手法			
		利用者数（人）	7,491						廃止			
125	斎場	所管課	市民課	108	50.4	-	55,025	17.1	現況評価	政策的評価	完成から４０年以上が経過しており、施設全体が老朽化しているため、予防保全的な修繕では維持できなくなる恐れがある。火葬能力の維持のため、火葬炉の改修は必須である。	施設の維持を図りながら、建替えを視野に入れ検討を進める。国道１２２号バイパスで駐車場が分断されるため、道路整備の進捗にあわせて、駐車場を改修する。 【主な改修計画等】 ・火葬炉設備改修 ・照明LED化工事 ・駐車場改修工事
		建築年	1984						ＢⅡ	高		
		経過年数	41						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	1,718.99						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
126	田中正造記念館	所管課	財政課	183	42.2	-	1,784	54.4	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。NPO法人へ貸付を行っている。	不具合箇所の修繕を行い施設の存続、長期利用を図る。計画的な点検を実施し突発的な修繕を未然に防止する。
		建築年	1981						ＢⅠ	高		
		経過年数	44						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	157.24						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
127	総合卸売市場	所管課	農業振興課	78	53.7	-	572	55.3	現況評価	政策的評価	令和６年度の火災からの復旧により天井部の配線が一新され、継続して屋根の防水工事を行ったことにより、防水対策自体は以前より向上している。建物躯体は、全体的に複数のクラックやコンクリート剥離が多数あり、雨水がコンクリート内部に入り鉄骨腐食が生じる可能性は継続してある。	大規模修繕は困難なため、毎年度小規模修繕を実施し、施設の延命化へ繋げる。
		建築年	1986						A	高		
		経過年数	39						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	4,570.52						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
128	岡野町管理事務所	所管課	道路河川課	183	42.2	-	3,341	53.3	現況評価	政策的評価	資材置き場として使用している。職員等の常駐はなく、老朽化が進んでいる。	最低限の費用におさえながら，環境・防犯上における管理をしていく。都市計画道路青柳広内線計画区域内に施設が存在しているため、事業実施の際には建物を取り壊し、残地へ移転予定。 【主な改修計画等】 ・軒天修繕
		建築年	1981						ＢＩ	高		
		経過年数	44						基本となる方向性			
		構造	W造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	74.09						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
129	朝日町作業所	所管課	道路河川課	116	49.6	-	4,437	52.5	現況評価	政策的評価	資材置き場として使用している。職員等の常駐はなく、老朽化が進んでいる。	敷地内の除草・清掃、日常点検を実施しながら、活用を検討していく。
		建築年	1981						ＢＩ	高		
		経過年数	44						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	164.85						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
130	大手町書庫	所管課	行政課	103	51.0	-	1,333	54.7	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいる。周辺に学童・児童センターがあり段差や雨水浸透桝などで、つまづくおそれがある。	書庫として今後も長期間継続して利用するため、設備の順次改修を行っていく。
		建築年	1986						A	高		
		経過年数	39						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	172.00						整備手法			
		利用者数（人）	31						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
131	大手町倉庫	所管課	財政課	68	54.8	-	2,894	53.6	現況評価	政策的評価	倉庫として使用。老朽化が進んでいる。	最低限の費用におさえながら，環境・防犯上における管理をしていく。
		建築年	1999						A	高		
		経過年数	26						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	79.25						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
132	旧館林保健所	所管課	財政課	132	47.8	-	54	55.6	現況評価	政策的評価	建物の老朽化が進んでいる。	施設の廃止に向けて、関係者協議を進めていく。
		建築年	1959						ＢＩ	低		
		経過年数	66						基本となる方向性			
		構造	RC造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	798.80						整備手法			
		利用者数（人）	-						廃止（条件付き）			
133	青柳町倉庫	所管課	財政課	200	24.4	-	0	55.7	現況評価	政策的評価	建物の老朽化が進んでいる。	施設の廃止・売却に向けて諸手続きを進めていく。
		建築年	1917						ＢＩ	低		
		経過年数	108						基本となる方向性			
		構造	W造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	337.26						整備手法			
		利用者数（人）	-						廃止			
134	旧渡瀬分館	所管課	財政課	200	40.3	-	0	55.7	現況評価	政策的評価	建物の老朽化が進んでいる。	施設の廃止・解体を進めていく。
		建築年	1934						ＢＩ	低		
		経過年数	91						基本となる方向性			
		構造	CB造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	19.83						整備手法			
		利用者数（人）	-						廃止			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
135	館林駅前公衆便所	所管課	緑のまち推進課	60	55.7	-	23,652	39.1	現況評価	政策的評価	駅前の顔として日々清掃を行うと共に、ポイ捨てやいたずら防止のため防犯カメラを設置し、利用者の安全安心を確保した。また、障害者用トイレのベビーベッドも更新し快適性も向上させた。	日常点検の中で適宜メンテナンスを行う。
		建築年	1995						ＢⅡ	高		
		経過年数	30						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	47.00						整備手法			
		利用者数（人）	69,350						維持保全			
136	館林駅西口駅前広場公衆便所	所管課	道路河川課	12	61.0	-	23,814	39.0	現況評価	政策的評価	新しい施設であり、状態はよい。故障の報告はない。	施設運営にあたっては、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。
		建築年	2019						ＢⅡ	高		
		経過年数	6						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	54.72						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			
137	旧農業指導センター	所管課	財政課	145	30.4	-	79	55.6	現況評価	政策的評価	平成２８年に県より取得した施設であり、敷地は館林市障がい者総合支援センターの駐車場として貸付を行っている。	市として利活用が進まなければ廃止するものとして、利活用の検討を進めていく。
		建築年	1970						ＢⅠ	低		
		経過年数	55						基本となる方向性			
		構造	S造						再編・廃止について検討			
		延床面積（㎡）	388.80						整備手法			
		利用者数（人）	-						再編（転用または廃止）			
138	旧駅前観光案内所	所管課	商工課	87	52.7	-	7,113	50.7	現況評価	政策的評価	建物の老朽化が進んでいる。令和６年度には雨漏りがあり外壁修繕を行っている。１階～３階部分については合同会社三手家守舎に運営を委託してる。	今後も創業支援事業として活用していくことから、計画的な点検を実施し突発的な修繕を未然に防止する。
		建築年	1992						Ａ	高		
		経過年数	33						基本となる方向性			
		構造	S造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	93.25						整備手法			
		利用者数（人）	2,350						維持保全			

No	施設名	基本情報		建物（ハード）		機能（ソフト）			施設評価		施設状態等	今後の計画
				老朽化率（%）	偏差値	1㎡当り利用者（人）	1㎡当りコスト（円）	偏差値				
139	ごみゼロ館	所管課	地球環境課	78	53.7	-	98	55.6	現況評価	政策的評価	老朽化が進んでいるが、現状は使用に伴う問題は発生していない。	３Ｒの発信拠点として継続して活用していく。
		建築年	1986						A	高		
		経過年数	39						基本となる方向性			
		構造	RC造						維持・再編			
		延床面積（㎡）	438.36						整備手法			
		利用者数（人）	-						維持保全			

館林市公共施設等全体個別施設計画

第２期計画

令和８年３月発行

発行　群馬県館林市
編集　館林市政策企画部財政課管財係

〒374-8501　群馬県館林市城町１番１号
ＴＥＬ　０２７６－４７－５１０６
ＦＡＸ　０２７６－７２―３２９７